

講義名	日本文化と社会			授業形態	
担当教員	山崎 誠	開講期・曜日・時間	前期集中 日曜日 その他		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

「日本の伝統文化、また日本企業の見学を通し、日本についての理解を深める」ことを目的として、ワークショップとフィールドワークを中心に、「実体験」を通して見聞を広める。
 具体的には、茶道、華道を自ら体験し、その文化の中に脈々と続いている教えや考え方などから、日本人や日本文化の理解につなげる。さらに日本社会を支える日本企業についての必要な知識を学び、実際に企業を見学することで日本企業についての理解を深める。

到達目標

1. ワークショップとフィールドワークを通して日本の伝統文化を実際に体験し、理解する。また、日本企業を見学することで、業務内容や会社内の雰囲気などを知り、理解を深める。
2. 現代の生活と比較しながら伝統文化の中にある考え方を理解する
3. 着物の「帯、裾、襟、端」や茶道の「一期一会」なる伝統的な文化に関するこを理解する
4. 日本の代表的な企業や製茶業などの伝統的企業の特徴などを知り、実際に見学することでさらに知識を広げることができる。
5. ルールを守りクラスメートと協力してワークショップやフィールドワークに取り組む。

提出課題

必要に応じて授業内で通知する

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業中に質疑を行う
 質問等はメールなどで対応する

評価の基準

日本の文化をしっかりと体験できている
 日本の文化を理解するよう努力している
 日本企業について知識を得て、その特徴を知ることができる
 日本企業の見学を通して、日本人とどのように働くかを考えることができる
 日本のルールを守りクラスメートと協力している

履修にあたっての注意・助言他

実際に企業や文化施設を見学する際、働いている人や係の人のいうことに従うこと
 日本の文化に触れ、ワークショップを楽しみながら学びましょう
 日本のルールに従って、フィールドワークなどを行い、他の人に迷惑にならないよう行動しましょう
 他のクラスメートを尊重して、助け合いながら学びましょう

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

.なし。				
------	--	--	--	--

その他

授業計画

1. 5月25日 授業説明、いけばな体験及び解説、着物の紹介、日本企業について、フィールドワークの準備
2. 6月22日 フィールドワーク：表千家北山会館にて茶道具及び抹茶 / 京都新聞社、任天堂
3. 7月6日 ワークショップ（着のマナー、食事のマナー、折り紙等）、発表

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・授業内で課題が指示された場合は、必ず提出すること
- ・疑問等がある場合は、メールなどで行う
- ・事前に配布する資料を熟読し、課題や問題点をまとめたり、分からない言語や表現があれば調べておく...2時間
- ・各自で配布した資料を熟読し、理解が不十分だった点を確認する...2時間

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、文化知識及び語学力を修得するとともに、仲間と協同して物事を成し遂げることができ、日本企業を見学することで、その知識と体験を日本での就職活動にいかすことができる
 また、新しい視点と豊かな発想によって、新しい価値を生み出すことができる人材を育成する科目である

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考